

## 環びわ湖大学・地域コンソーシアム

### 【大学地域連携課題解決支援事業 2017】活動提案の採択結果について

環びわ湖大学・地域コンソーシアムでは、滋賀県内に立地する大学の持つ多様な資源や力を地域へ還元するとともに、地域課題の解決に貢献すること及びその取り組みを通して、学生が滋賀の魅力に出会い、交流を深めることにより、滋賀の各地域に想いを持つ若者世代を増やすことを目指して、2012年度より活動支援事業を行っています。

加えて、昨年度から新たに地方創生にふさわしい地域住民主体の地域課題解決への貢献、U・Iターンを含めた地域人材育成・若者地域定着の期待に応える大学のゼミ活動を支援するなどについても活動提案を募集してきました。

その結果、継続 8 件、新規 5 件の応募がありました。本年度も地域人材育成・若者地域定着の期待に応える活動の提案には至りませんでした。申請のあった全ての活動提案を「必然性」「具体性」「地域性」「適切性」「発展性」の 5 つの視点から評価し、厳正な審査を行った結果、別掲の 13 件（結果的に応募があった活動提案すべて）を支援対象として選定いたしました。

他方、本事業推進に必要と考えていた予算を大幅に削減することが余儀なくされ、より有効的に活用するため、新規事業の採択額を優先しつつ、本事業の趣旨を十分に踏まえた提案であるか、活動の地域への広がりかどうか、予算の使い方はどうか、内容・手法が 2 年間で効果が望め、課題を踏まえた進展度かどうか等について総合評価を行い、採択額を決定しております。加えて、2 カ年の継続提案の場合にも、予算減に伴い一律に削減を行うのではなく、昨年 12 月に開催した「大学地域交流フェスタ 2016」における中間発表会において、ポスター及び活動報告内容が、素晴らしいと来場者が評価した結果の上位 3 プロジェクトに採択額を優勢配分しております。

また、新規 2 カ年の継続提案として採択された場合も、自動的に次年度事業として認めることはせず、中間発表会の大学地域交流フェスタにおいて、その進捗状況を確認し、2 月末までに提出を求める中間報告と次年度計画を再審査し、事業の進捗が見込めない、或いは同じ事業内容の繰返しと判断した場合には、採択しないことが確認されています。

今回、採択された皆さんには、それぞれの大学や地域の特色を活かして、創意工夫ある活動を展開し、大学と地域との連携活動の様々な可能性を広げていただき、併せて、「環びわ湖大学・地域コンソーシアム大学地域連携課題解決支援事業」の助成を受けている旨を明示するなど、本コンソーシアムの発信力を高めていただけることを期待しています。

平成 29 年 3 月 28 日

環びわ湖大学・地域コンソーシアム

大学地域連携事業委員会

□ 大学地域連携課題解決支援事業2017 審査結果一覧

	番号	提案者	自治体担当者	大学担当者	取り組みテーマ	採択額
継続	1	滋賀医科大学長 塩田 浩平 (担当) 学生課長 湯浅賢一	大津市保健所 健康推進課 酒井 草津市 健康増進課 森田	滋賀医科大学医学部 医学科4年学生 宮嶋佑輔	学生活動によるがん患者、がん患者家族を支援する活動 がん予防への意識を高める活動	100,000
	2	草津市教育委員会 文化財保護課 課長 藤居 朗	草津市教育委員会 文化財保護課 課長 藤居 朗	立命館大学理工学部 建築都市デザイン学科 教授 及川 清昭 講師 青柳 憲昌	市内に残る歴史的建造物を保護・活用するための調査事業	100,000
	3	立命館大学 経済学部 金井ゼミ 客員教授 金井 萬造	甲賀市 総合政策部政策推進課 主事 折田 みゆき	立命館大学経済学部 客員教授 金井 萬造	「あいの土山 道の駅」再生・地域活性化拠点形成計画	50,000
	4	立命館大学 サービスマニファクチャリングセンター センター長 高嶋 正晴	草津市 環境経済部農林水産課 特産振興グループ 主査 湯浅 圭太	立命館大学 共通教育推進機構 講師 宮下 聖史 サービスマニファクチャリングセンター 主事 高橋 あゆみ	草津野菜の地産地消サポート、農業生産者および消費者の高 齢化対策、生産者と消費者がつながる環境づくり	150,000
	5	東近江市 市長 小椋 正清 (担当) 東近江市愛東支所 副支所長 奥村 清和	東近江市 企画課 主事 谷 佑一郎	龍谷大学 農学部 食料農業システム学科 教授 淡路 和則	未来につながる「儲かる農業経営」	150,000
	6	東近江市 市長 小椋 正清	東近江市 総務部総務課 主事 庭田 恭平	びわこ学院大学 客員教授 谷口 浩志	東近江市における空家の調査とその活用に向けての提案と実 践	100,000
	7	彦根市生活環境課 主任 山本 武	彦根市生活環境課 主任 山本 武	滋賀県立大学 環境科学部 環境生態学科 准教授 野間 直彦 環境政策・計画学科 教授 上河原 献二	学生と市民が主体で取り組むナガエツルノゲイトウ等の駆除大 作戦	100,000
	8	長浜バイオ大学 学長 三輪 正直 (担当) 長浜バイオ大学 サイエンスカフェ 代表 町田 樹洋	長浜市 総合政策部総合政策課 課長兼部次長 米田幸子 事務担当: 主査 富永 拓	長浜バイオ大学 学生教育推進機構 学習・就業力支援担当 課長 杜下 好恵	理系人材を育てる「サイエンスカフェ」の開催	150,000
新規	9	聖泉大学 学長 筒井 裕子 (担当) 人間学部 准教授 脇本 忍	彦根市役所 産業部観光企画課 課長補佐 植田 勝彦	聖泉大学 地域連携交流センター センター長 間 文彦	「彦根映画観光ツーリズム」の提案と実践	200,000
	10	滋賀県立大学 環境科学部 環境建築デザイン学科 准教授 白井 宏昌	彦根市 都市建設部 都市計画課 副主幹 志宣 昌貴 交通対策課 主事 前川 祐一郎	滋賀県立大学 環境科学部 環境建築デザイン学科 准教授 白井 宏昌	「彦根市の観光を豊かにするパブリック・スペースのあり方」 一街路空間、空き地、空きスペースの活用による地域活性化	200,000
	11	東近江市 市長 小椋 正清	東近江市 観光物産課 主事 佐子 都 主事 若林 涼介	成安造形大学 芸術学部 教授 大草 真弓	東近江市ブランドロゴの作成	200,000
	12	東近江市 市長 小椋 正清	東近江市 市民環境部交通政策課 係長 須田 良行	びわこ学院大学 教育福祉学部 准教授 バン ジュイン	近江鉄道の活用による地域活性化	200,000
	13	草津市 企画調整課 課長 南川 等	草津市 企画調整課 林 良作	龍谷大学 理工学部 岩嶋浩樹・実習講師	「明日行きたくなる！草津市の魅力発信映像」の制作	100,000
採択額合計						1,800,000